

佛教文學

第二十二号

ISSN 0385-7778

佛教文學

第二十二号

平成十年三月

佛教文學會

〔大會講演〕
中世中期の歌論に投影した中國詩 石原清志
——黃山谷の詩風——

〔論文〕
日本靈異記の「貧窮」について 山口敦史
『道賢上人冥途記』の成立 山本五月
——『北野文叢』所収永久寺本を中心に

參籠の宗教的考察 龍口恭子

——定型表現を中心にして——

『寶物集』成立の背景 坂巻理恵子
——往生十二門の構想をめぐって——

『方丈記』にみる修行環境に関する一考察 芝波田好弘
——「五縁具足」との関連から——

岡本かの子「みちのく」 武石彰夫
——「待つ」をめぐって——

浅井了意本「撰要目録卷」 外村彰夫
——「夜叉」 長尾佳代子

彙報 佛敎文学会会則
事務局だより